

## 令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒が自ら学び自ら考える姿勢を育成するために基礎学力を充実させ確かな学力の定着を図る。 ②学科併置の特色を活かした学びの楽しさを実感できる学習活動の一層の展開を目指す。	①生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着をめざすための学習内容・方法を追求する。 ②学科併置の特色を活かし、より充実した教育活動の展開を目指す。	①ICT の活用をより一層定着させ、主体的で個別の学びにつながるよう指導する。 ②両キャンパスの教育資源を有効に活用した授業展開の確立を目指す。	①ICT を活用した学びのスタイルを教育活動の中で確立し、基礎学力を育成することができたか。 ②両キャンパスの教育資源を有効に活用し、工夫された教育活動を実践できたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①社会生活で必要となる社会的資質や行動力を高めることができるよう指導と援助を行う。 ②幅広い教育活動の機会を活用し、企画・運営に関わることを通して主体性や課題解決能力、またコミュニケーション能力及び自己有用感の育成を図る。	①問題行動未然防止と、集団指導と個別指導の充実、規範意識の醸成を図る。 ②部活動・委員会の活動を活性化するとともに、各行事では多くの生徒が運営に関わることのできる機会を増やし、学校生活のあらゆる場面で生徒が主体的に行動できるようにする。	①問題行動未然防止への呼びかけ、チームとして問題行動への速やかな対応と規範意識の向上を図る。 ②行事における生徒の業務内容を単純化、明文化し、主体的に活動できる支援をすすめる。また、ホームページの部活動ページの更新、部活動促進週間の実施などで、部活動加入率の向上を目指す。	①生徒対応や指導から生徒の変容が見られるようになったか。適切な集団指導、個別指導を実施できたか。 ②生徒が仕事の内容を理解し主体的に行動できていたか。部活動加入率が向上したか。					

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①高校3年間の生活を通して、自分の特性を理解し自分を活かす進路に生徒自らが積極的に行動できるよう適性検査やキャリアパスポートを利用しながら、進路指導の充実を図る。また、高校卒業後の未来の自分をイメージして社会や仕事に対する視野を広げ、第一志望の進路実現を目指せるようにする。	①「第一志望の進路実現」に向けて、高校生活の3年間の中で自ら考え自分を見つめ直す機会が設けられるよう、キャリアパスポートの利用率を高める。	①年次毎、総合的な探究の時間の進路探究の時間に、キャリアパスポートを使った進路指導の時間を設定する。また、その実施内容についても、精査しながら行う。	①年次毎、キャリアパスポートを利用した総合的な探究の時間で実施した回数。また、その内容を分類して、行った状況の把握と評価を行う。					
4	地域等との協働	①地域とのかかわりを持ちながら積極的に貢献活動を行い、HP等での情報発信を充実させ、生徒の活動の場を広げる。 ②地域の教育力を活かした取り組みを実施する。	①本校の活動内容や学校の様子などの情報について「HPなどを活用して広く発信する。 ②これまで行ってきた地域連携活動を継続していくと共に、発展した活動を実践していく。	①HP、インスタグラムなどで学校の情報や活動内容を広く発信する ②「産農人」「農業体験」を充実していくと共に、独自ブランド商品の開発に取り組む。	①情報発信についてより充実することができたか。 ②地域産業や企業等と連携した活動が実施できたか。					
5	学校管理 学校運営	①両キャンパスの環境や防災体制を整備し、生徒・教職員・学校利用者が健やかに活動できる安全安心な学校づくりをすすめる。 ②教職員のワークライフバランスを充実させ、心身ともに健康で、心にゆとりを持てるような働き方の改革をすすめる。	①多様な状況を想定した避難訓練をとおし、両キャンパスにわたる防災に対する体制を確立する。 ②教職員の多様なワークライフバランスに合った服務や働き方改革を検討実施する。	①避難訓練の実施と振り返りを行い、生徒・教職員の防災体制への理解と意識の向上を図る。 ②教職員からの意見を基に、教員の長時間勤務の是正やウェルビーイングの向上に向けた方策を検討する。電話機の自動音声機能や録音機能を、有効的に使用する。	①避難訓練を実施し、生徒・教職員の防災体制への理解と防災意識が向上したか。 ②教職員からの意見を基に課題を検討したか。電話機機能を有効に活用することができたか。					